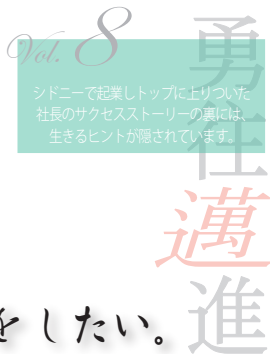




ICN留学情報館 代表



東京町田出身。高校2年間をイギリスで過ごす。芝浦工業大学に進学後、エンジニアを3年半勤めた後、世界に通じる人材を目指しオーストラリアの大学院(QUT)に進学。ローカルの留学・ビザエージェントで日本部門立ち上げに携わり、2005年30歳でICN留学情報館を独立する。



シドニーで起業しトップに上りつた社長のサクセスストーリーの裏には、生けるヒントが隠されています。

人生を最大限に輝かせるお手伝いをしたい。

「シドニーで留学エージェント業を立ち上げたのはなぜですか？」

大学院卒業後、そのまま大学院で研究を続けるか就職するかという岐路に立たされた時、ちょうど私自身がお世話になっていたエージェントでこの仕事のおもしろさを知りました。「自分の経験が誰かのために役に立つ」ということがとても魅力的で、いつの間にかわくわくしている自分がいました。もともと教育分野に関心があり、大学院ではビジネスとデザイン、マルチメディアを専攻し、教育方面に応用させるプロジェクトに取り組んでいました。

サービスを改善・創造していくために新しいサービスシステムを構築することが必要と感じ、それができる最善の方法が起業すること、という結論にいきついたからです。

「新しい情報サービスシステムの構築とは具体的にどのような取り組みですか？」

お客様との交流の中で様々な情報のやりとりがあります。情報の信頼と対応力をつけていく、感動して頂けるように常に精進し進化していくこと、お客様の絶対的な応援者のひとりとなること、これらを追求めていけるようなフレキシビリティのあるサービスを実現化してきたいと思っています。現場のニーズを收拾していけば無限に提供していく価値のある情報サービスの可能性が発見できます。それを実現させていくためにこの情報館が存在しています。

社長箴言

★自分を信じる勇気を持つこと。

★自分の進む道・選ぶ道には誤りなどなく全て正しい。

★人生で起こることは全て自身のために起きている。

「今後の展望をお聞かせください。」

ウェブ上のさまざまなサービスシステムにより、あらゆる世界が急速に接近し、また進化しています。ウェブの双方向性を応用させることは世界をより深く繋げていくことになります。人との実際のコミュニケーションはより世界に優しさをもたらします。心がなにかを感じる感動・衝撃的事実の体感、自分の魂が震えるようななかを今の日本人は心のどこかで探しているのでは、と私は思います。

一人一人との出逢い、縁を大切にさせていだし、人として思いやりと心のもった対応をさせていただくこと、誠実・信頼ある行動を取り続けることにより国の壁を取り除くことも可能になります。

常に変化している情報をリアルタイムに追跡していくこと、またその情報責任を負うこと、これらの積み重ねが信頼を築いていくと僕は思っています。

「最後にシドニーに住む若い人に向けてメッセージをお願いします。」

心がなにかを感じることで、自分の魂が震えるようななかを是非、探して頂きたいです。選べる時代に入っているからこそ、自分の可能性を信じてチャレンジすること。好きなことを大切にしてください。人生の岐路に立った時には、それを紙に書き出し、自分の心の声をしっかりと聞いてください。心が弾むこと、わくわくすることを追求する先には偉大な自己革新に繋がります、必ず幸せに繋がります。